



Accredited Testing JNLA ZER10707P

試験報告書



有限公司 相互商事 殿  
鳥取県鳥取市湖山町北3丁目468

試験品内容： [ 種 別 ] JIS A 5308:2019 附属書A 「デューシストロクリート用骨材」  
[ 採 取 日 ] 2023年11月 27日  
[ 産 地 ] 鳥取市湖山町地内  
[ 採 取 場 所 ] 鳥取市湖山町地内  
[ 製 造 業 者 ] (有)相互商事 鳥取市湖山町北3丁目468

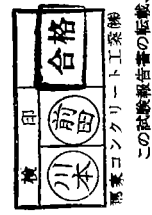
試験項目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法) ✓

受領日 (試料持込日)： 2023年 11月 29日  
試験日： 2023年 11月 29日 ~ 2023年 12月 7日 ✓

試験結果： 次頁以降のとおり  
特記事項： —

試験結果は、上記のとおりであることを報告します。

2023年 12月 20日  
大阪府東大阪市水走3丁目8番19号  
一般財団法人 日本品質保証機構  
関西試験センター



検査 佐野 弘明 長 佐野 那良 技術管理者 那良 時義  
鳥取コンクリート工業 株式会社

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承諾を受けてください。  
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。  
一般財団法人 日本品質保証機構

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)

(1)試験方法 JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」による。

- (2)判定基準 a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が70mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Ss)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を「無害」と判定し、溶解シリカ量(Ss)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を「無害でない」と判定する。  
b) 溶解シリカ量(Ss)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が70mmol/L未満の場合、その骨材を「無害」と判定する。  
c) アルカリ濃度減少量(Rc)が70mmol/L以上の場合には判定しない。

(3)試験結果

繰り返し	試験量 (g)	反応時間 (hr)	アルカリ濃度減少量 (Rc) (mmol/L)			溶解シリカ量 (Sc) (mmol/L) 「吸光度法」			判定
			V1 (mL)	V2 (mL)	Rc	平均値	吸光度	A	
1	25.00	24.0	20	18.65	58	0.167	2.81	20	無害 20 ✓
2	25.00	24.0	20	18.65	58	0.172	2.90	21	
3	25.00	24.0	20	18.65	58	0.170	2.87	20	

ブランク V3 (mL) = 19.80  
希釈倍率 η = 10

$Rc = \frac{20 \times 0.05 \times F}{V_1} (V_3 - V_2) \times 1000$  Sc =  $20 \times n \times A \times \frac{1}{28.09}$

Rc: アルカリ濃度減少量  
F: 0.05mol/L塩酸標準液のフアクター=1.000  
V1: 希釈試料溶液からの分取量  
V2: 希釈試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量  
V3: 希釈した空試料溶液の測定に要した0.05mol/L塩酸標準液量  
Sc: 溶解シリカ量  
n: 希釈倍率  
A: 検量線から求めた吸光度

(参考)

